熊本市立保育園の巡回点検を実施しました

令和8年（2026年）●月●日

令和8年（2026年）12月25日の「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行に向けた取り組みの一環として、熊本市こども政策課と保育幼稚園課では、熊本市立保育園19ケ園と中央児童発達支援ルームに対して、外部有識者等を含む「巡回点検チーム」による巡回点検を行いました。

1. 目的	こどもの安全と権利を守り、性被害を未然に防ぐため、専門的所見を有する外部有識者等による多角的な視点からの施設点検を行い、改善に向けた指導助言を踏まえ、安心できる環境を整える。
2. 取組概要	外部有識者等含む「巡回点検チーム」を編成し、公立保育園等の巡回点検を行い、施設内の死角をなくす取組のアドバイスを実施する。
3. 巡回点検チーム	学識経験者、くまもと被害者支援センター、熊本県警及び熊本県防犯設備協会により編成
4. 実施内容・手順	施設図面を用いて施設内を巡回し、こどもの性被害が起こり得る死角となる場所を洗い出す。施設巡回後は、巡回点検チームと施設管理者等で意見交換を行い、巡回点検チームのメンバーからのフィードバックやアドバイスを受けながら、施設の環境改善に向けた検討を行う。

5.改善取組の事例

ハード面：死角をなくす

●掲示物の撤去

0・1歳児クラスのトイレ・沐浴室のドアに貼ってあったカレンダーを外し、中が見えるように改善

【改善前】　　【改善後】





●掲示位置の調整（掲示物の撤去が難しい場合）

廊下側の窓の掲示物を低い所に移動し保育室内が見えやすいように改善

【改善前】



【改善後】



●不要な目隠しの撤去

不要な2階のフェンスの目隠しが死角となっていたため、あえて外部から見えるように撤去した。

【改善前】



【改善後】



●整理整頓

階段下の遊具置き場が死角になっている可能性があったため、整理整頓を行った。

【改善前】



【改善後】



ソフト面

- **性被害に対する理解促進と相談しやすい風土づくり**

  こどもの性被害は身近なところから起こり得るということを職員全員が自覚し、性被害防止に関する取組（安全確保措置）を理解する。また、仮に性被害（不適切保育）が疑われる事案が発生した際に、早期に把握できる環境を整えるために普段から相談しやすい職場風土を醸成する。

- **不規則な見回り**

  防犯カメラに加え、職員の目（見回り）が重要。加害行為の抑止につながるよう、見回りの時間や経路を固定しない不規則な見回りを実施する。

- **複数の目が届く範囲での保育の実施**

  職員とこどもが密閉された空間で1対1になる状況を避け、複数の目が届く環境で保育を行うことが重要である。また、やむを得ずそのような状況が生じる場合には、職員同士で声を掛け合い、互いに状況を把握できるよう、日ごろから風通しの良い職場環境をつくる。